

【利用者向け】
メールホスティングサービスにおける
データ移行マニュアル

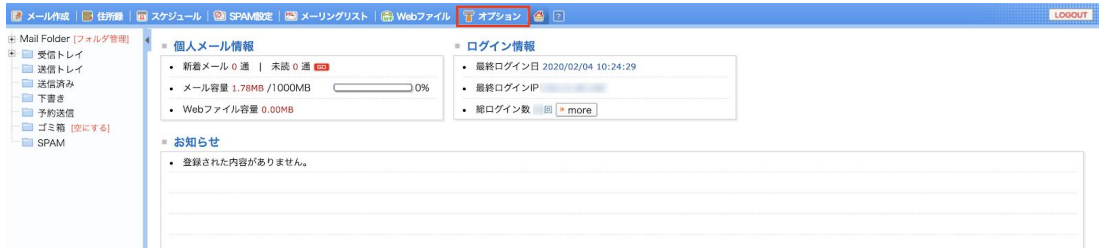
(POP3を利用する場合)

- 本マニュアルについて
メールホスティングサービスのメールアドレスを、ECCSクラウドメールに移行する際、POP3を利用して移行するためのマニュアルです。
主に、メールホスティングサービスの【利用者】を対象としています。

- 移行前に実施いただくこと
 - ECCSクラウドメールのアカウント作成
以下の広報を参考に、ECCSクラウドメールを各自で取得し、初期設定を実施いただきますようお願いいたします。
ECCSクラウドメール利用方法 - 初期設定等 -
https://www.ecc.u-tokyo.ac.jp/announcement/2016/04/01_2159.html

 - ECCSクラウドメールのサービス内容については、以下の広報をご覧ください。
ECCSクラウドメールサービスのご案内
https://www.ecc.u-tokyo.ac.jp/announcement/2016/02/08_2116.html

1. MailSuiteにログインし、上部メニューから<オプション>を選択します。



2. <個人環境の設定>を選択します。

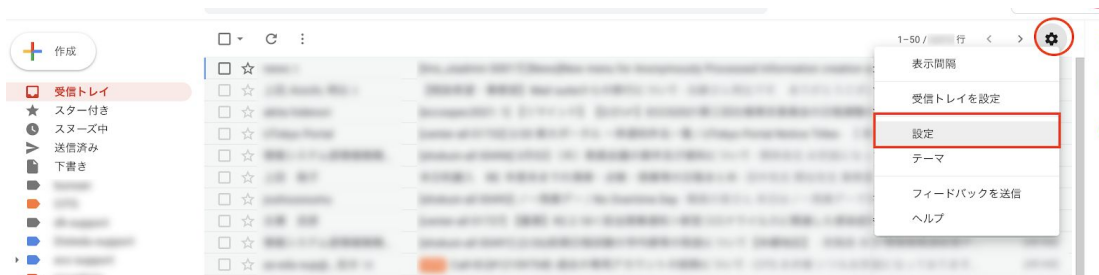


3. <国別認証制限>のタブを選択し、<日本>と<アメリカ合衆国>にチェックを入れ、<適用>を押下します。

※この設定は、ECCSクラウドメールがGoogle社のアメリカ合衆国にあるサーバを利用しているために行います。



4. ECCSクラウドメールのWebインターフェースにログインし、歯車マークから<設定>を選択します。



5. <アカウント>タブを選択し、<メールアカウントを追加する>を押下します。



6. メールホスティングサービスのメールアカウントを入力し、<次へ>を押下します。

メール アカウントの追加

追加するメールアドレスを入力してください。

メールアドレス:

7. 表示された画面で、以下の設定を入力します。

ユーザー名：メールホスティングサービスのメールアカウントを入力

パスワード：上記メールアカウントのパスワードを入力

POPサーバー：pop-d.ecc.u-tokyo.ac.jpを入力

ポート：「995」を選択

「取得したメッセージのコピーをサーバーに残す。」にチェック

「メールの取得にセキュリティで保護された接続(SSL)を使用する。」にチェック

「受信したメッセージにラベルを付ける」にチェック

以上を入力もしくはチェック後、<アカウントを追加>を押下します。

メール アカウントの追加

@ .u-tokyo.ac.jp のメール設定を入力します。 [詳細](#)

メールアドレス:

ユーザー名:

パスワード:

POP サーバー: ポート:

取得したメッセージのコピーをサーバーに残す。 [詳細](#)

メール取得にセキュリティで保護された接続 (SSL) を使用する。 [詳細](#)

受信したメッセージにラベルを付ける:

メッセージを受信トレイに保存せずにアーカイブする

8. 表示された画面で<いいえ>を選択し、<完了>を押下します。(デフォルトは<はい>になっていますので、ご注意ください。)

メール アカウントを追加しました。

これで、このアカウントからメールを取得できるようになります。
さらに @ u-tokyo.ac.jp からメールの送信もできるようにしますか？

はい。 @ u-tokyo.ac.jp としてメールを送信できるようにします。

いいえ (後で変更できます)

9. <設定>の<アカウント>タブで、メールホスティングサービスのメールアカウントが表示されているのを確認してください。
また、完了後、自分のメールアカウント名のラベルが表示されるようになり、移行されたメールにはこのラベルが付与されます。



10. 読み込むメールの数が多い場合、完了までに数日以上かかる可能性があります。自動的にリトライしますので、完了までお待ちください。

制限事項

- メールホスティングサービスのアカウントからECCSクラウドメールのアカウントに転送されるメールは、**MailSuiteの受信トレイに存在するメールのみ**となります。送信トレイやフォルダに分類したメールは転送されません。転送対象のメールは、**必ず受信トレイに移動**してください。